


<p>[氏名] 遠藤正之 東京都出身、1960年生</p>	
<p>[現職] 静岡大学情報学部 教授</p>	
<p>[学生へのメッセージ] 私は、長年の金融機関の現場と情報システム部門での経験を活かし、社会人大学院生を経て、大学の教員に転身しました。皆様も大学院での学びや他の学生との切磋琢磨を経て、ご自身の強みを伸ばし、未踏の分野に挑戦する力を養っていただくことを望んでいます。また、担当講義で扱う FinTech（フィンテック）は、金融分野でのイノベーションですが、2017年頃から金融界だけで議論するフェーズから、一般企業経営での活用を図るフェーズになっています。是非皆様と一緒に活用方法を考えていきたいと思ひます。</p>	
<p>[専門分野] 金融情報システム、FinTech（フィンテック）、情報システムのマネジメント</p>	
<p>[担当科目] フィンテックと企業経営</p>	
<p>[主な経歴] 1983年早稲田大学政治経済学部卒業。同年三菱銀行(現三菱UFJ銀行)に入行し、2015年9月まで32年半勤務。うちシステム部に16年強在籍し、第3次オンライン開発、東京三菱銀行システム統合、三菱東京UFJ銀行システム統合等の超大規模プロジェクトに、主に推進マネジメントの立場で参画。2015年10月から静岡大学情報学部准教授、2017年4月から同教授。 2011年9月中央大学大学院戦略経営研究科修了(首席)、経営修士(専門職)。 2015年3月慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科後期博士課程修了、博士(システムデザイン・マネジメント学)。</p>	
<p>[主な研究業績/社会的活動] 『金融情報システムのリスクマネジメント-大規模開発から FinTech まで 6 観点(CORE-OQ)の戦略的適用-』日科技連出版社 単著 (2016) 「FinTech が中小企業金融にもたらす影響」日本政策金融公庫論集 第37号 単著 (2017) 「FinTech に係るリスクについて」日本セキュリティ・マネジメント学会誌 Vol31/No.1 単著 (2017) 「金融に係るリスクと最近の動向」安全工学 Vol.56/No.2 単著 (2017) 「金融情報システムが経営戦略に与える影響の考察-オンライン証券業界における競争事例-」日本情報経営学会誌 Vol.37No.1 共著 (2017) Startup Weekend 浜松オーガナイザー (運営ボランティア) (2016~)</p>	
<p>[所属学会・団体] 日本情報経営学会、経営情報学会、システム監査学会、国際戦略経営研究学会</p>	
<p>[資格・表彰] 情報処理システム監査技術者、日本証券アナリスト協会検定会員、一級ファイナンシャルプランニング技能士</p>	